

# 運輸安全委員会ダイジェスト

JTSB (Japan Transport Safety Board) DIGESTS

第21号 (平成28 (2016) 年6月発行)

## 船舶事故分析集

### 旅客船事故の防止に向けて

- 1. はじめに ..... 1
- 2. 事故等の発生傾向と調査事例 (単独衝突、乗揚、火災、死傷) ..... 2
- 3. 事業者インタビュー ..... 19

#### 1. はじめに

運輸安全委員会が調査対象とした旅客船<sup>(※1)</sup>が関連した船舶事故及び船舶インシデント<sup>(※2)</sup>(以下「旅客船の事故等」という。)は、平成23年～27年の5年間に310件発生しており、年平均62件でほぼ横ばいに推移していましたが、平成28年に入って1月～4月の間に年平均を上回るペースとなる26件(平成28年5月末現在)が発生しています。(図1及び図2参照)

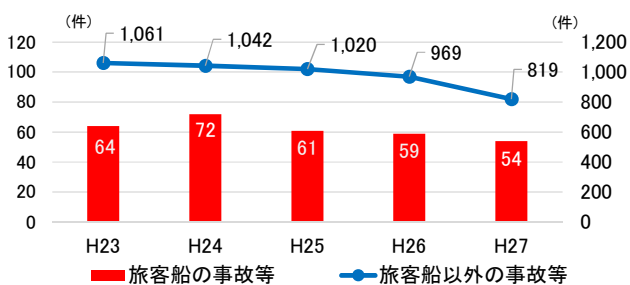


図1 事故等件数の推移

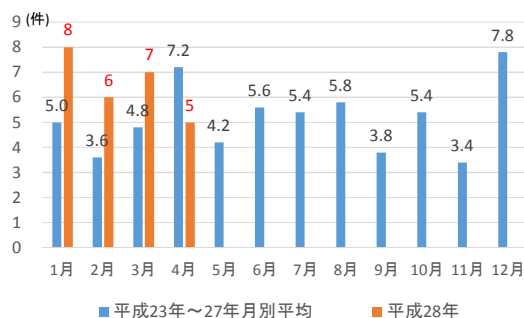


図2 過去5年の月別平均と平成28年の発生状況

また、平成26年～27年に社会的に関心の高い旅客船の事故が、船舶の大小にかかわらず発生したのは、記憶に新しいところです。

表1 最近発生した主な旅客船の事故

船種	発生年月	事故の概要
小型旅客船	26年5月	暗岩に乗り揚げ、旅客14人が軽傷
小型旅客船	26年6月	連続した高い波を乗り越えた際、旅客3人が腰椎骨折等
フェリー	26年7月	漁船群を回避中に浅瀬に乗り揚げ、車両甲板に浸水
海上タクシー	27年4月	選挙の投票箱を運び終えた後、機関室で火災が発生し、海に飛び込んだ選挙関係者2人が溺れて死亡
フェリー	27年7月	車両甲板で火災が発生し、乗組員1人が死亡

これらの発生状況を踏まえ、同種事故の防止・被害の軽減に向け、旅客船の事故等の発生傾向及び調査事例を紹介します。

※1 本資料で「旅客船」とは、「旅客船」、「フェリー」、「交通船」、「海上タクシー」、「遊覧船」、「観光船」などのことをいい、「遊漁船」、「瀬渡船」、「ダイビング船」などは含まれません。

※2 「船舶事故」とは、船舶の運用に関連した船舶等の損傷や人の死傷等を伴うものをいい、「船舶インシデント」とは、船舶事故の兆候をいい、本資料で船舶事故と船舶インシデントを合わせて「事故等」といいます。



浅瀬に乗り揚げた大型フェリー  
写真提供：付近航行船舶の乗船者



炎上中の海上タクシー  
写真提供：海上保安庁